

個別事業(取組)評価				
事業No.	6	施策の柱への位置付け	柱① 学校・学級改革	
事業名称	教科指導エキスパート派遣事業		担当課	小中学校課
			当初予算額(千円)	9,456
			補正後予算額(千円)	8,556
			決算額(千円)	8,414

		当初計画	年度末点検・評価
①	現状(課題)とその要因	【現状】 教員の教科指導において、知識や技能を様々な場面で活用する力が十分に付いていない。	ア 正確に把握していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 全国学力・学習状況調査による中学校の結果から、数年来改善傾向は見られているが、主として「知識」に関するA問題、主として「活用」に関するB問題ともに全国平均を下回っており、特にB問題において全国平均との差が大きい。 平成22年度の調査においても同様の結果となっている。
		【要因】 教科指導に関する研究・研修は増加傾向にあるが、教員の教科指導力を向上させるためのOJTが十分に機能していないことが考えることができる。	イ 十分に特定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) すべての学校から提出される「学校改善プラン」における学校ごとの現状や課題、取組、検証等結果から要因を特定した。
②	目標(Outcome)	① 教科指導エキスパートから支援を受ける教員が、自らの授業の課題を把握し、意識的に授業改善を行う。 ② 授業改善の意識を高め、支援を受ける教員が教材研究や教材活用の工夫を行った授業実践を行う。 ③ 各学校で実施する授業評価において、授業力向上に関する各項目の評定アップを目指す。	ウ 達成可能で具体的な目標を設定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 学校改善プランの「子どもにわかる授業づくり」に関する項目に基づき、数値目標ではないが、具体的な評価指標を設定している。
		【検証(比較)方法】 ◆ 教科指導エキスパートを派遣している学校からの報告書にて確認する。 ◆ 必要に応じて訪問にて状況を確認する。	エ 目標は達成されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) ① 教科指導エキスパートの指導・助言等によって、すべての学校が授業改善を行うことができています。 ② 学校改善プラン検証シートの「子どもにわかる授業づくり」の項目において、9割以上の学校が肯定的評価であった。 ③ 各校で授業評価は実施したものの、それを十分活用するまでには至らなかった。ただ、授業力向上に関しては肯定的な声が多数報告されている。 【報告書より】 ※ 授業の準備や授業展開における指導助言で、授業改善に対する教員の意識向上につながった。 ※ 中学校を見据えた小学校での指導の在り方についての指導助言が大変参考になった。
③	実施内容(Input・Output)	◆ 学力向上のための指導改善加配を配置する学校に、専門的な知識や技能を持った退職教員等を教科指導エキスパートとして派遣し、指導改善のための支援や助言等を行う。 6市町村 20時間/週×28週(1校あたり)	オ 計画通り実施されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) ◆ 概ね計画通り、教科指導エキスパートを派遣することができた。 7市町 9校 9名派遣 ◆ 各派遣校で、教科指導エキスパートによる指導・助言が行われた。(授業におけるチームティーチング指導、放課後等における教材研究への助言等) ◆ 報告書・学校訪問により実施状況を確認した。
総合評価と今後の方向		目標達成度 B 「No」を選択した項目 <input type="checkbox"/> 【総合評価】 派遣先の各学校で各教員への適切な助言により、指導を受けた教員の授業改善や学力向上の面で成果があった。また、授業改善の意識を高め、支援を受ける教員が教材研究や教材活用の工夫を行った授業実践を行ううえでも効果があった。	【今後の方向】 ◆ 派遣するエキスパートの人材確保を促進する。 ◆ エキスパートを活用して授業改善がどのように改善されたかを学校改善プランや学校からの報告書で把握するとともに、より具体的な評価指標の設定とその検証についても改善していきたい。